

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		認証保育所補助事業費 [認証保育所補助事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業番号 5	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	保育		課		管理・給付		係 課長名 関田 孝志	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書(ページ)	59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	認証保育所を利用できる世帯 →			0~5歳の児童数(4月1日時点)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
保護者は育児と仕事の両立、児童は適切な保育を受けられる。 →			認証保育所を利用している児童数					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
市内に住所がある児童が認証保育所を利用した際、当該認証保育所に補助金を交付した。 →			認証保育所における補助金交付対象児童数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	人	4,321	4,167	4,033		
	成果指標	②の数値	延人	351.0	215.0	208.0		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
		活動指標	③の数値	延人	351	215	208	
3 経費	事業費(実績)		円	42,745,350	27,177,610	29,439,760	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	21,422,000	13,239,610	14,395,760		
		特定財源(国・都・他)	円	21,323,350	13,938,000	15,044,000		
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)		円	1,648,800	1,662,000	1,676,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	44,394,150	28,839,610	31,115,760			
4 環境変化等	(1) 開始年度		13 年度					
	(2) 環境の変化		・平成27年4月「子ども・子育て支援新制度」の開始に伴い、認可施設への移行等により認証保育所は年々減少している。 ・令和2年度は市内の認証保育所は1園であり、他市の認証保育所を含め、コロナウイルス感染症の影響もあり前年度より利用者は減少した。					

事業名称	認証保育所補助事業費 [認証保育所補助事業]			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・都の要綱制定後、早急に市の要綱を改正し、補助対象認証保育所に対して早めに周知をしたい。また、事務負担を減らすために様式等を見直したい。 	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・都の要綱制定後、速やかに市の要綱改正を行い、単価改正に伴う精算等を行った。 ・運営費の管理表を作成し、交付決定額や支払額の適正管理に努めた。 	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 単価改正を前提に、運営費の管理表を作成し適正に管理する。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
運営費にかかる加算項目の増加や、算出方法の複雑化により管理シートを作成することは容易ではないため、東京都から情報提供を待って、加算内容の確認と制度理解を迅速に行い、準備期間を十分に確保し対応する。		